

... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \*

北海道バイオマス・メールマガジン 第3号  
[2006.3.7発行] 北海道バイオマスネットワーク会議

\* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \*

< もくじ >

- 『北海道バイオマスネットワーク・フォーラム』を開催しました
- 北海道内のバイオマスタウンについて
- 木質ペレットストーブの設置について
- 道産資材活用モデル工事の道産資材募集について
- バイオマス利活用に関する「キャッチフレーズ」について
- 今後の行事予定情報
- 事務局だより
- 読者のみなさまからの情報をお待ちしています
- 「北海道バイオマス・メールマガジン」の配信希望者を募集して  
います
- 編集後記

~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ...

『北海道バイオマスネットワーク・フォーラム』を開催しました  
北海道バイオマスネットワーク会議の事業の一環として、去る2月15日に北海道大学学術交流会館講堂において「北海道バイオマスネットワーク・フォーラム」を開催いたしました。昨年9月に設立しましたネットワーク会議主催としては初めての大きな事業となり、厳寒の中、200名を超える皆さんにご来場いただき、バイオマス利活用への感心の高さが伺えました。当日は、ネットワーク会議会長である北海道大学大学院工学研究科 古市教授に「北海道におけるバイオマス利活用に向けた展望」と題して講演をいただいたのち、帯広畜産大学 梅津一孝助教授からは「十勝管内バイオガスプラントの現状と課題」、(株)日本総研創発戦略センター 赤石和幸研究員からは「道内でのバイオガス供給ビジネスの事業化について」、(株)荏原製作所環境システム技術室 市原 昭副室長からは「千葉県山田町をモデルとして」の3件の事例報告をいただき、終了後は講演者、来場者を含めて熱心にディスカッションが行われました。

フォーラムの概要は以下をご覧ください。

[http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-khbts/recycle\\_2/biomass/biomass\\_net.html](http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-khbts/recycle_2/biomass/biomass_net.html)

~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ...

北海道内のバイオマスタウンについて  
持続的発展が可能な社会「バイオマス・ニッポン」の実現に向けて、農林水産省では、地域のバイオマスの総合的かつ効率的な利活用を図る「バイオマスタウン構想」を平成16年8月から募集しています。「バイオマスタウン」とは、バイオマスの発生から利用までが効果的なプロセスで結ばれた総合的な利活用システムが構築され、安定的かつ適正なバイオマス利活用が行われているか、あるいは今後行われることが見込まれる地域と定義されており、平成22年度までに全国で500市町村まで拡大することとしています。  
バイオマスタウン構想は平成18年2月末までに全国で35市町村が公表されており、道内では以下の6市町村がバイオマスタウンとして公表されています。(以下は公表順です。)

留萌市 (H17.2)

これまでに徹底して進めてきたごみの分別収集とリサイクルの取組を加速させ、地域発の新技术である多目的材料変換システムを活用し、生ごみ、もみがら等からの肥料・燃料の原料生産などに取組む。資源循環型社会の理念のもと建設された「美サイクル館」を拠点に、廃棄物系バイオマスをフル活用し、「ごみゼロエミッション」の確立を目指す。

瀬棚町 (H17.2)

有機農業特区における株式会社の農業経営、日本初の洋上風力発電

の取組が進められている地域。町の基幹産業である農林水産業から発生する家畜排せつ物、水産加工残さなどを活用したバイオガス発電を行い、地域のハウス栽培に利用するといった取組を進める。将来には、バイオマス利用を教育や観光資源としても生かすことを目指す。

#### 大滝村（H17.7）

除間伐事業で発生する林地残材を木質燃料化し、木質ボイラーおよびペレットストーブの燃料として利用する。役場庁舎に設置した木質ボイラーから周辺の公共施設等へ暖房・給湯を行う地域熱供給システムを確立し、魅力ある村づくりを推進し地域の活性化を図る。

#### 三笠市（H17.10）

バイオマス資源（生ごみ・下水汚泥・廃食油等）の有効活用による堆肥等の生産により、循環型社会を構築するとともに次世代に誇れる環境と農業観光振興による元気なまちづくりを目指す。

#### 中札内村（H17.11）

農業を基幹産業としていることから、家畜ふん尿を中心としたバイオマス資源が豊富にあり、これらを活用することにより土づくりを基本とした環境にやさしい有機農業を推進し耕畜連携による循環農業を目指す。

#### 東藻琴村（H18.2）

本村は、これまで畑作と畜産が盛んな特性を活かし、堆肥や敷料等へバイオマスを活用してきた。今後は、現状の利活用システムのさらなる推進、農産物残渣を加えた高品質な堆肥の生産・利用を通じて、地域循環型農業を実践し、消費者の安全・安心に対するニーズに即したクリーン農業へ取り組むことを通じて、地域ブランドの確立や担い手の育成、地域活性化を目指す。

バイオマスタウン構想の詳細については、「バイオマス情報ヘッドクォーター」をご覧ください。

<http://www.biomass-hq.jp>

～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ …

#### 木質ペレットストーブの設置について

道では、「北海道WARM BIZプロジェクト」の一環として、地球温暖化対策及び木材振興対策を図ることを目的に、2月20日から本庁舎1階道民ホールに、家庭用の木質ペレットストーブを設置し、道内での普及を図っています。

ご存じのとおり、木材は燃やすと二酸化炭素を発生しますが、成長過程で大気中の二酸化炭素を吸収しているため、総体として大気中の二酸化炭素濃度を増加させないという特性（カーボンフリー）があります。木材を燃料として使用すると化石燃料（石油・石炭など）の消費を減らすことができ、その分二酸化炭素の排出も減らすこととなります。

本道では、冬期間の暖房使用による二酸化炭素の排出量が全国に比べて多くなっておりますので、地球環境にやさしく、また、木材振興にも役立つ木質ペレットストーブの普及が望まれます。

道庁にお立ち寄りの際は、やわらかな炎がゆらめくペレットストーブをぜひ一度ご覧下さい。

【設置場所】道庁本庁舎1階 道民ホール

【燃焼期間】毎年12月～翌3月末日までの開庁日 9時から17時まで

【問い合わせ】環境生活部環境室環境政策課  
水産林務部木材振興課

～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ …

#### 道産資材活用促進モデル工事の道産資材募集について

道内経済の活性化を促進する観点から、土木用（建設、農業、森林）道産資材の利用促進及びその性能等を検証するため、北海道（建設部・農政部・水産林務部）が実施する道単独工事において、道産資材を使用

する道産資材活用促進モデル工事を実施します。

モデル工事は、道産資材活用促進モデル工事積算単価表に記載されている道産資材の中から、現場条件等を勘案して使用する道産資材を選択し、使用した道産資材について工事終了後に性能等を検証するものです。このため、モデル積算単価表に掲載するための資材及び製品について、募集を行います。募集は2月13日から第1回目を募集していますが（締切：3月15日）、募集要件には「北海道認定リサイクル製品」も含まれています。

詳細は、以下のHPをご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.jp/kensetu/kn-gjknr/kouji/dousansizai/modelkoji.htm>

【問い合わせ】建設部 建設管理室 技術管理課

E-mail: [gikan.newtec@pref.hokkaido.jp](mailto:gikan.newtec@pref.hokkaido.jp)

《ご注意》 電子メールによるお問い合わせの際、タイトルは必ず「モデル工事に関する問い合わせ」

として下さい。（それ以外は迷惑メールとして削除され、回答できなくなります。）

ト

～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ …  
バイオマス利活用に関する「キャッチフレーズ」について

本メールマガジンでもこれまでお知らせしていましたが「北海道らしいバイオマスの利活用」のイメージを表現したキャッチフレーズを先月末まで募集していたところですが、9名の方から38件の応募がありました。キャッチフレーズにつきましては、次回のネットワーク会議（現在日程等を調整中において決定する予定で、またあらためてご案内いたします。

～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ …  
今後の行事予定情報

『北海道バイオマスセミナー』のご案内

平成14年12月に「バイオマス・ニッポン総合戦略」が策定され、バイオマスの利活用推進に向けた様々な活動が取組まれています。

北海道においては、エネルギー作物、ほ場副産物、家畜ふん尿、木質廃材や食物残さなど多様なバイオマス資源が豊富に賦存しており、豊かな自然環境を保全しつつ、循環型社会を形成していくためには、既に取り組まれている地域の事例や新たな技術開発等に基づく知見を紹介することにより、さらなる利活用を目指していくことが有効と考えられます。

このことから、「北海道バイオマスセミナー」を開催し、利活用に向けた最近の取組み、新たな技術の展開、利活用取組み事例等の紹介を行い、北海道における総合戦略の積極的展開に資するものです。

開催日時 平成18年3月8日（水）13:30～17:00

開催場所 札幌第一合同庁舎2F講堂（札幌市北区北8西2）

定員 200名

主催 北海道バイオマス・ニッポン総合戦略連絡会議

内容

13:30～13:50 平成17年度バイオマス利活用優良表彰

14:00～17:00 北海道バイオマスセミナー

講演 「バイオマス廃棄物からの石油系有用化学物質回収の可能性～化学産業関連企業の可能性」

北海道大学大学院 教授 増田 隆夫氏

「十勝地域におけるバイオエタノール事業の現状」

（財）十勝圏振興機構食品加工技術センター

研究開発課長 大庭 潔氏

「留萌市バイオマスタウン構想の実現に向けて」

留萌市生活福祉部生活環境課

美サイクル館館長 仙北 高士氏

「北海道における共同利用型バイオガスプラントの課題と展望」

（独）北海道開発土木研究所

土壌保全研究室長 石渡 輝夫氏

問い合わせ

セミナーの参加申込などは以下にお問い合わせください。

(社)日本有機資源協会 TEL:03-3297-5618

URL <http://www.jora.jp>

北海道開発局開発調整課 TEL:011-709-2311(内線)5473

~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ...

『バイオマスフォーラム～生ごみ用バイオガスプラントについて考える～』のご案内

家畜ふん尿対策としてのバイオガスプラントは一般的ですが、道内には中北空知地域に実用レベルとしては全国発の生ごみ用バイオガスプラントが3基稼働しているところです。

生ごみ等のバイオマス廃棄物も、堆肥・資料などへの再利用のほか、熱・電気などエネルギー利用も循環型社会構築に向けて重要な課題であり、環境省においても「生ごみ等の3R・処理に関する検討会」を設置し、今後の方向性等について検討をしているところです。

このような状況の中、廃棄物学会バイオマス系廃棄物研究部会や北海道バイオガス研究会などの主催により以下のフォーラムが開催されます。

主催 廃棄物学会バイオマス系廃棄物研究部会、北海道バイオガス研究会、日本生物工学会、廃棄物学会北海道支部

後援 バイオガス事業推進協議会、北海道(予定)、札幌市(予定)

日時 平成18年3月27日(月)13:00～17:00

場所 北海道大学学術交流会館(札幌市北区北8西5北大正門横)

内容 基調講演 「生ごみ用バイオガスプラントの現状と課題」  
北海道大学工学研究科 谷川 昇助教授

話題提供 三井造船、クボタ、鹿島建設、タクマ、栗田工業  
申込み、問い合わせについては、北海道バイオガス研究会HPをご覧ください。

<http://www.tekipaki.jp/~hbiogas/biogas/news1/news1.htm>

~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ...

読者の皆さんからの情報をお待ちしています

バイオマスに関する取組みや情報などを、このメールマガジンでご紹介させていただきまますので、情報を事務局までお寄せください。内容・字数は問いません。

... ..  
「北海道バイオマス・メールマガジン」の配信希望者を募集しています

皆さんのお知り合いで、当メールマガジンの配信を希望される方がいらっしゃいましたら、事務局までご紹介ください。

配信希望者のお名前、E-mail、住所地(市町村名まで)、ご所属先等を記入のうえご連絡ください。なお、皆様の個人情報(名前、E-mailアドレス、住所地(市町村名)及び所属先等)は、「北海道バイオマス・メールマガジン」の配信に使用するもので、それ以外には使用しません。

編集後記

「北海道バイオマスメールマガジン」第3号をお届けします。本号では、北海道バイオマスネットワーク・フォーラム」の概要を掲載しましたが、この2月から3月にかけてバイオマスに関する様々なセミナー、シンポジウムが各地で開催されており、やはりバイオマスは注目度1のようです。当ネットワーク会議では、新年度も様々な取組を進めたいと思いますので、皆さまのご協力をお願いします。【J】

... ..  
登録変更・解除について

配信登録の内容変更（送信先メールアドレスの変更など）や配信登録の解除につきましては、お手数ですが、事務局まで「変更の内容」や「登録解除」の旨をお知らせください。

このメールマガジンは、「北海道バイオマスネットワーク会議」事務局（北海道環境生活部環境室循環型社会推進課循環推進グループ）で配信しています。

\*\*\*\*\*  
\* 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 \*  
\* TEL:011-204-5197 FAX:011-232-4970 \*  
\* E-mail:kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp \*  
\* (アドレスが変わりました。) \*  
\*\*\*\*\*